

町民まちづくり提案書

11

令和元年10月30日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所
氏名

町民まちづくり提案事業について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	デッカ跡を運動・野草公園にして欲しい。
2 提案の理由	村山に広大な町有荒廃地がある(一部利用済み)。そこを利用して運動コースや競技場・野生植物園などを作って欲しい。 1. 美瑛町には大きな公園が無い。又、丸山の運動公園では平地のみで大きな大会に参加出来る練習環境で無く、美瑛町で行われている大会ですら参加者は少ない。丘陵を利用した周回運動施設を作る(夏・冬。自転車等も考慮。) 2. 美瑛町には動・植物園とか博物館などの親子で学習出来る場所が無い。美瑛町は野生生物の宝庫(フラワーソんで実証済み)などの観察出来る場所が欲しい。 3. 高地で池もあるので展望塔やポート池なども欲しい。
3 事業の実施期間	希望調査や設計もあるので数年かかると思われる。
4 事業の実施場所	村山:デッカ跡及びその周辺の荒廃地。
5 事業の予算額	不明だがかなり大型になる物と思われる。道や国などにも要求していく。
6 事業の内容	大型計画で、町民の要望も入れ、計画段階から専門家も含めて検討していく。この辺は将来高速道路も通ると思われるので町外からの訪問者も考えていく。又、時間がかかるので可能なものから順次開始・利用していく。 1. サーキットコース-夏冬利用出来、凹凸や周囲を回ったりする変化のある沢山のコースを作る。 2. ジョギングとクロカンスキー・自転車・ローラースキーなどが共用出来るような地盤やコースにする。 3. 野草園として町内の野草を季節的に植栽し、散策と共に学習出来るようなものとする。 4. 親子で遊べる広場で小動物も飼育する。 5. ゲームが出来る広場も作る(野球・サッカー・ラグビーなど)。 6. 頂上の展望台に噴水が欲しい。噴水は十勝岳からも見られるような規模としたい。 7. 最下部にはポートの出来る池を造成する。 8. 更衣室・集会場・駐車場などきちんと計画して作成する。
7 事業の効果	町の将来に関わる施設とし、交通も考えていく。 将来高速道路や452号も開通し、バイパスもかなり多くなる物と思われる。商業施設なども出来る、多くの集客の出来るものとしたい。 駐車場はゆとりのあるようなものとし(場所を周囲に沢山作る)イベントも行う。

町民まちづくり提案書 12

令和 元年 10月 30日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所
氏名

町民まちづくり提案事業について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	フラヌイダム跡を①町民の森②水郷公園③生産の森等にする。
2 提案の理由	二股の幻の[フラヌイダム]の跡は殆ど手が付けられていない。立ち退きした人達のためにもきちんとした利用計画を立てて町民の将来に夢を与えたい。
3 事業の実施期間	数年(おそらく10年くらい)
4 事業の実施場所	二股奥。元富美・霞城・青葉・富美など。
5 事業の予算額	おそらく数億となると思われる。(一部は個人負担)。道や国にも補助や協力を依頼する。
6 事業の内容	<p>フラヌイダム跡(二股奥)はダム建設の予定で住民のすべてを移動させたが、途中で中止となり、跡地は町に寄贈されたと聞いている。この町の財産を利用して町の将来のために残るものや新しい生産物の基地、夢のある水郷公園などにする。下の平地は数段のダムと湿性植物、上部には[旅行村]と生産の森、傾斜地は[町民の森]として将来に残す。</p> <p>①[下の平地]数段に分けてダム化し、遊水池・水性動植物生育地とする。(ホタル・トンボ・ザリガニなど昔の動物再生。ハス・スイレン・ショウブなどを植栽)。ポートを浮かべ競技や遊びの出来る施設も欲しい。 周囲と堰堤上はスポーツに利用出来るよう広くする。 将来の施設増加も考える</p> <p>②[周囲の傾斜地]10×5mくらいに仕切り、現在の行政区などに分けて個人に[樹木1. 2本]を自由に持ってこさせ、個人の家の標識を付けて思い出の場所にしたい(墓標の代わり)。保守代を現在の住民、町の関係者、希望者に分けて徴収し、保守を依頼する。</p> <p>③[上の平地]「国民の旅行村」として利用。</p> <p>④その他の空き地は[生産の森]として、美瑛町で生産可能な果樹や山菜を生産する。特に山菜加工場と果実酒とか果実ジュース工場を建築する。 ※作成は主として冬期間、農閑期としたい。 ※生産者は町を挙げて行い、特に「老人力」を利用したい。</p>
7 事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の楽しみの場の育成。 ・町の「特産物」の作成。 ・将来への夢の継続。 ・造成はなるべく冬期とし、冬期の作業労働力確保とする。

町民まちづくり提案書 13

令和 元年 10月 30日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所
氏名

町民まちづくり提案事業について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	美瑛古潭の観光化・公園化について
2 提案の理由	美瑛古潭は「村史」によると十勝岳不動の滝と共に美瑛町の名勝地であるが、現在は道路も無く放置されている。再開発を進め、本物の観光地を作りたい。又、貴重な植物も多く、「樹木公園」としたい。
3 事業の実施期間	可能な限り早めに町民の総意を持って準備を進め、実施して欲しい。
4 事業の実施場所	美瑛町大曲。美瑛川と美馬牛川の交流点。
5 事業の予算額	提案書2～4は共に大型で時間もかかり、お金もかかる。計画でも数年かかるかも知れない。町民の総意と、道・国等の支援が必要と思われる。数億？。
6 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・美瑛町内で本物の名勝地は少ないが、町から至近距離にある名勝地である。特に紅葉の頃は有名であり、利用者も多かった。 以前は学校の炊事遠足等で利用したりしたが、時代と共に利用されていないが貴重な財産である。石山と共に身近な散歩道ともなる。 ・大曲の頂上に駐車場を作り、下に降りる歩道が出来れば、すぐ近くであり、かなりの利用者・来訪者も多く来るものと思われ、春のカタクリやフクジュソウ、秋の紅葉の頃は特に有名になるものと思われる。 ・周辺は樹木に蔽われているが、美瑛町周辺の樹木を移植して「樹木公園」として整備すれば、学習や散歩道としてもかなり利用出来ると思う。
7 事業の効果	<p>美瑛町内の名勝地として発表出来、集客力が増す。 学習の場としても貴重な存在となる。(貴重な岩石や植物も多い)。 ジオパーク構想の目玉にもなると思われる。(美馬牛川はピバウシュの産地) 開発が進めば、美瑛川沿いの道も整備され、名勝地も増え、山周りの中本の道以外の道路となり、いろんな利用法が考えられる。</p>

令和 元年 10月 30日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所
氏名

町民まちづくり提案事業について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	廃校や廃屋を避暑に利用させる
2 提案の理由	町内にある廃校はそれぞれ地域の中心であり比較的交通の便も良い。 廃校やその跡を有効活用し、町の活性化に利用する。 学校跡、特にグラウンド・体育館の有効活用を図る事で大型の集客が出来る。 美瑛町の涼しい気候を有効に使い、本州の暑さ・花粉症などの克服を図るため大量の子供を来町させ合宿をさせる。 グラウンド・体育館を利用することにより、各種大会・イベントも可能であり、子供の休みの革命になる。 町の食・自然の有効利用を図る。
3 事業の実施期間	計画も含めて長期的になる。利用は主として長期休み。
4 事業の実施場所	町内の廃校や廃屋。会館などの有効利用。
5 事業の予算額	当初はかなりの投資となるが、その後は自然に収入が増していく。
6 事業の内容	美瑛町の涼しい気候や新鮮な空気を有効に使い、学校跡や空き家などを合宿可能な施設にし、本州から大量の主として子供を中心として来訪させ、合宿させる(チャーター機などを利用)。 本州の暑さ・花粉などの克服を図ると共に、春の花粉症、夏の猛暑から逃れ、涼しく広い場所で学習や球技(大会可能)・楽器などの部活動も可能な場所を提供する。将来は子供の休みの革命になると思われる(美瑛町発信)。 また、食材の生産や子供との対応など町の食・自然の有効利用を図る。 参加者の募集は広く全国から募集し、飛行機を利用して町のバスで送迎移動する。キャンプなども出来る。
7 事業の効果	廃校は建設には非常に多くのお金をかけ、学校は文化の中心であった。現在でも分館は学校中心である。休んでいる施設の善用も期待出来る。 地区の分館を中心として受け入れ体制を組み、地区上げて利用者に協力する。当然食事は地区の人が行い、食材も地区で確保し、地区の子供も含めて学習や遊び等に参加出来、交流が深まる。 参加者には楽しみと喜びを与え、地区には都会との交流が期待され、いろんなプログラムでいくらかでも発展していくものと思われる。子供の休みの過ごし方に革命が来ることも予想される。 町や地区としても準備も含めつながりが深まり、それに向けての学習や準備、地元での食材の確保などでかなりの生産向上も期待出来る。

町民まちづくり提案書

15

令和 元年 10月 30日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所
氏名

町民まちづくり提案事業について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	「ヘルシー美瑛・100才まで元気！」運動を進めよう
2 提案の理由	日本人の寿命は世界一と言われているがただ生きているだけでは意味が無い。生涯健康で居るために「個人カルテ」を作り、自分の欠点を発見し、健康度を増す工夫を町が保健センター・公民館等と協力して進めて欲しい。 場所はあるが、それを積極的に進める行政が無い。 町を挙げて“皆健康！”を誇れるような仕組みを工夫したい。
3 事業の実施期間	常時自己点検。節目を付けた行事の実施(山・海・体育の日)。ジョギング・水泳などの日常化。体育祭の実施。
4 事業の実施場所	分館。体育施設。公園。
5 事業の予算額	不明。多いほどよいが…。
6 事業の内容	①町行事への参加を進める-指導者を増やし、参加者を増やす。 ②競争で無く、全員参加出来る行事を作っていく。早朝ジョギング・全町登山(山の日)・自転車町内巡り・全員水泳(海の日)・全員スポーツ(健康の日) ③「健康カルテ」(仮称:体の健康度や運動能力測定表)を全員が持ち、「日々努力、日々進歩」で健康度を自分及び保健婦等と共有し、努力目標とし毎年点検 ④町として「健康の町」を目標とし、表示し、予算化し全員健康を目指す。
7 事業の効果	個人個人が自分の目標を持ち、健康度を高める手段として健康度指数などを作成し(町独自で良い)、随時(最低でも年1回以上)点検しながら向上心を持って生活するようになりたい。 欠点を克服し、向上が自分でも認められる様なもの(個人カルテ)を作り、時々点検しながら健康維持に努める。

町民まちづくり提案書

16

令和元年10月30日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所
氏名

町民まちづくり提案事業について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	美瑛町ボランティア預金制度を
2 提案の理由	現代社会は数多くのボランティア活動によって支えられている。特に大勢の人が集まる行事では非常に大切である。しかし、これらに参加する人はかなり限られていると言える。同じ人が数多くの行事に無償で協力して行事が支えられている。最近では学校でもボランティア活動を進めるようになってきているが、ボランティア行事に参加することに意義を持たせ、もっと多くの人(全町民)に、可能なときに多くのボランティア活動に参加する事に意義づけを行い(手帳を作りポイント制とするなど)、沢山参加した人にはそれなりの敬意をもって接する態度を養成する。
3 事業の実施期間	全町民に理解され次第実施する。広報・議会等で話し合う。
4 事業の実施場所	すべての行事。
5 事業の予算額	個人手帳などほんのわずか。
6 事業の内容	2のように社会に貢献する態度を学校はじめすべての町民(国民)に植え付け、“他人のために働く”という態度を育成していく。そのために 1. 全町民に周知させる。広報や分館活動、学校教育の場、社会教育の場などを利用し、公共活動や行事などに積極的に参加・協力する態度を育成し、助長させる。 2. 参加者には行事の内容により大まかなポイント制にして残して行く。 3. ポイントの大きさに評価を与える。年間蓄積。生涯で評価する。
7 事業の効果	現代社会のもっとも不足していると思われる“自分さえ良ければ他人はどうでも良い…”という風潮を払拭し、他人も含めて幸せを享受する様な社会を美瑛町から発信していけないだろうか? 町の新しい取り組みとして取り上げられないだろうか?

町民まちづくり提案書

17

令和元年10月30日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所
氏名

町民まちづくり提案事業について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	登校拒否児はパソコンで解消する
2 提案の理由	最近新聞紙上で問題視されている「登校拒否児」に関しては、学校や教育委員会などで努力していると思われるが、現代の複雑な家庭や社会状況では中々困難である。そんな時に、現在の文化を利用し、パソコンやスマホを利用し、元教員とか、しっかりした協力者を依頼して支援出来ないだろうか？。個別指導や団体での活動などで学力養成や学校や行事への参加を進める。
3 事業の実施期間	条件が揃い次第実施可能。
4 事業の実施場所	協力者。家庭。公共施設などを利用。
5 事業の予算額	ボランティア活動としたい。
6 事業の内容	上記の理由の解消法としてプロや大人の協力を依頼し、一人でも有能な社会人を育てていきたい。 又、この制度を利用して、長期入院の学生にも支援が出来る。 教育委員会や学校などとも話し合う必要がある。
7 事業の効果	何らかの理由で登校出来ない児童・生徒は国の損失である。本当は国で処理すべきものだが現在はまだ親とか学校とか教育委員会の力によって処理されており、現在もドンドン増えているという。 これの対処法として美瑛町発信の対処法はどうだろうか？

町民まちづくり提案書

18

令和 元年 10月 30日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所
氏名

町民まちづくり提案事業について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	町文化財の検討をすべきである
2 提案の理由	現在、町の文化財はたった2つしか無い。 本当に町として貴重なものは無いのだろうか?将来に向けて何も残すものは無いのだろうか?疑問が残る。本当は町や委員の怠慢で探す努力をしていないのでは無いか疑問である。 町内で将来に引き繋ぐもので、町として守るべきものをきちんと調査し、きちんと保護して、次代に繋いでいきたい物と思われる。
3 事業の実施期間	今、すぐにも開始して欲しい。(公示、募集、調査)
4 事業の実施場所	町内全地域、全家庭
5 事業の予算額	内容によりかなり変わる。
6 事業の内容	理由のとおり、現状で良いのか疑問であり、貴重なものが守られないまま失われてきている。(藤野の奉迎館は「村史」でも将来ともに守るべきとあるのに、今年失われた)早急に全町民に知らせるとともに発掘保護すべきものがないか調査すべきである。 「戦争の記録」も美瑛町の発展から考えると重要であるが、軍事秘密とかで知られないまま放置・放棄されている。従軍者が存在している中に記録しておきたい。開拓後たかが125年、されど125年である。開拓当時の苦労もしっかりと残したい。
7 事業の効果	”温故知新“などと言うと笑われるが、古いものや貴重なものがまだまだある物と思われる。世代が変わり、価値が変わっても残すべきものは残すべきだ。 評価は次世代に任せよう。

町民まちづくり提案書

19

令和元年10月30日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所
氏名

町民まちづくり提案事業について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	駅裏の開発をして欲しい
2 提案の理由	美瑛町に「道の駅」が2つもあることは嬉しいしやや自慢でもあるが、どちらも今一つ自慢出来るものではない。多くの町では道の駅を利用して宣伝したり町の自慢品を販売しているが美瑛町にはそれらしきものは殆ど無い。第一駐車場やトイレも狭く殆ど無いと言って良いくらいであり、場所すら道路からは遠く判りづらい。町には幸い駅裏に広い未利用地があり、小公園もある。又、鉄道を渡る歩道橋もある。これらを利用して大きな商業施設を計画して欲しい。 ①駅裏に「道の駅」の支所を作る。現「道の駅」と地下道で繋ぎ、大型商業施設とする。 ②国道から駅裏まで通した「商業団地」(道の両側を大きなアーケードで覆い、連続した商業施設を並べる。食堂街も作り一大商業地とする。) ③公園の近くに噴水や広場を作り、イベントが開けるようにする。 ④鉄道沿いや道沿いに広い駐車場を設け、イベントや買い物、休憩に利用しやすいものにする。 将来町の中心となることと思われる。
3 事業の実施期間	先ず、きちんとした計画を立て、目標を立てて参加者を募集し、その後開発に入りたいが、あまり遅くなると場所が狭くなり、大型の計画が出来なくなる。早急に計画を立てて実施して欲しい。
4 事業の実施場所	駅裏(大町・北町)
5 事業の予算額	かなり大型になる物と思われる。数年(数十年)
6 事業の内容	先ず、「道の駅」の支所を作り、その後大型商業施設を作る。 富良野マルシェとか旭川イースト・ウエストなどのように大型施設で無ければ人は集まらない。町の将来のためにもきちんと将来を見据えた計画が欲しい。 町の大型イベントの時に広い駐車場が駅付近に欲しい(シャトルバスの運行)。 中心には小公園が必要。水(噴水)も欲しい(景観の美化)。
7 事業の効果	駅や国道からも近く、町の中心となるものと思われる。きちんと計画的に発展させたい。商業者の意識も変えさせて欲しい。

町民まちづくり提案書

20

令和 元年 10月 30日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所
氏名

町民まちづくり提案事業について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	道路の再編成を
2 提案の理由	美瑛町は「丘の街」であり、それぞれ沢に沿って開発がなされ、道も沢の下(住宅)や丘の上(生活道路)などがあり、なかなか解りづらい。又、道路は開拓時代からの物が多く、現在の車社会にふさわしくなく不便な所も多い。ここで、将来を見通した道路(橋)を考えて欲しい。 町できちんと計画を立てて国や道に伝えて欲しい。 自転車利用者が急増している。自転車専用道路(青線)を作って欲しい。 国道からの入り口も鉄道とは立体化すべきである。
3 事業の実施期間	先ず町民に原案を考えたり提供させ、その後それをまとめて町の意見としてそれぞれに提出して欲しい。
4 事業の実施場所	大久保橋-北町。北瑛-(国道・鉄道・宇莫別に陸橋)-三線へ繋ぐ。憩ヶ森-憩など横断道路を将来的に計画し、車社会に向けて改変する。 北瑛、美馬牛など名勝地の多いところの自転車道路は優先して進めて欲しい。
5 事業の予算額	不明
6 事業の内容	現在の道路は明治以来の徒歩生活に寄っている。車社会にふさわしいものも取り入れるべきである。又、美瑛町の国道は狭く、本数も少ない。大きな行事があるとかなり混み合っており、農作業などにも支障を来している。国道や鉄道などは立体化すべきである。全町的にも点検して欲しい。 美瑛町は自転車によるイベントも計画しているが、全国に向けても自転車路の確保は重要である。
7 事業の効果	